大きい 内線等 316 3			度実施事業分)事務事業評価 		+0~~	₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩₩	ョ 3々 ↓□ 、∪・	担当	11-008 服部
歌集体系 ・	DCA	事務事業名					麦 務担当		
数条体系 2. 無業 2. 無素 2. 無素 2. 無素 4		政策体系			な環境が同	可立するま	ち		•
単位原派: (1) 継続的・安定的な農業経営の促進 個別漁派: ()担い手の育成 根拠法令等 一)								
根拠法令等 ――――――――――――――――――――――――――――――――――――									
日的を達成 新規就農者向けのパンフレットを作成し、地元農業高校や各大学に配布し、新規就農者 するための の降保を図る。 手段・活動	<u> </u>			<u> 上的は辰未祥</u>	呂の促進				
日的を達成	台計	根拠法令等							
日前を達成 新規就農者向けのパンフレットを作成し、地元農業高校や各大学に配布し、新規就農者 方もための の確保を図る。 子段・活動 記定新規就農者 青年等就農計画の認定を受けた者)が、補助金制度・農業制度資金等を活用できるようにすることで、新たな就農者の定着を支援する。 活動素値 30年度 2年度	Ī	1240/2021						工纵侧土	
1日的で達成 別規 (_ と の	対象・目的						广、1夜 秘	で 月 八
するための の確保を図る。	月 玄	日的を達成	 新担就農者向けのパンフレットを作成 地元農業草校や冬大学に配布 新担計典者						
大きい 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一切 一	* ‡	するための	の確保を図る。						
大きい	争		認定新規就農者(青年等就農計画の認定を受けた者)が、補助金制度・農業制度資金等						
1 新規就農者支援事業P R 活動 4 4 4 4 4 9 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	-	内容	を活用できるようにすること	とで、新たな就	尤農者の定	゚゚着を支援	する。		
1 新規就農者支援事業PR活動 4 4 4 4 4 4 4 9 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 3 3 7 3 3 4 3 2 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3			 			20年度	元任由	2年度	畄仏
②農業次世代人材投資事業費補助金 4,500 6,860 9,000 千円 8 15人 事業費 4,500 6,860 9,000 千円 1)			 舌動					
活動結果	-		②農業次世代人材投資事業費	貴補助金				9,000	千円
下書	ÍJ		③新規就農相談人数				8	15	人
大学の事業	ミ年度の活動結果と見られた成果								
活動単位当たりのコスト		沽動結果							
目標値 日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			活動単位当たりのコフト		総事業質				
日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日				カコスト		1130年度			
目標値				· - / \			310	201	117
目標値 日標値 日本 日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			2 用 Ł 梅			1100 5 5		D0 45 th	22/11
目標値 日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日		成果					K元年度		単位 単位
目標値 日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			①認足新規就長有認足数 			2	1	2	人
目標値 日標値 日本 日標値 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日			_		目標値	1	1	1	
大きい (回り)			(2)		実績値				
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本					目標値				
目標値			3		実績値				
図点別評価									-
観点別評価 ②市民ニーズ 低い ⑤成果向上の余地 ※対象・手段の変	C 課題の整理	観点別評価	· · · ·		有効性				
3 休廃止の影響 大きい ⑥類似事業の有無 ない ⑧受益者負担適正化余地 ない ®受益者負担適正化余地 ない のできた。 また、新規就農者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資事業補助金を新たに2名に交付し、合計の名が、新はの定義を図り、新規のできた。 は、新規のでできた。 は、新規のでできた。 は、新規が農者のは、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。 ない の方向性 になる。 さらに、新規の設定を行い、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して			①市の関与の妥当性 妥当			中程度			な
本			0 1 1						
事業の 評価・課題 「課題 「書業の」 「課題 「書業の」 「会社の書業として、半田市独自の就農者向けパンフレットを作成し、農業に関係する大学や高校に配布し、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。 「本意味」 「おおれました。 「おおれまました。 「おおれまます。」 「おおれまます。」 「おおれまます。」 「おいます。」 「おいまする。」 「おいます。」 「おいます。」 「おいます。」 「おいまする。」 「おいます。」 「おいまする。」 「おいます。」 「おいまする。」 「おいまするまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまするまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまするまする。」 「おいまする。」 「おいまするまする。」 「おいまするまする。」 「おいまする。」 「おいまするまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「おいまする。」 「ないまするまする。」 「はいまするまする。」 「まれまする。」				り類似事業の	有無	ない	じ 受益者負担	2週止化余地	7
事果の 評価・課題 者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資事業補助金を新たに2名に交付し、 合計6名に補助金交付や就農状況確認を行い、就農後の定着を図った。(離農者0名) また、新規事業として、半田市独自の就農者向けパンフレットを作成し、農業に関係する大学や高校に配布し、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。			^						
事果の 評価・課題 者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資事業補助金を新たに2名に交付し、合計6名に補助金交付や就農状況確認を行い、就農後の定着を図った。(離農者0名)また、新規事業として、半田市独自の就農者向けパンフレットを作成し、農業に関係する大学や高校に配布し、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。			 県やJA等の関係機関と連携を図り、認定新規就農者を2名確保した。また、新規就農						
また、新規事業として、半田市独自の就農者向けパンフレットを作成し、農業に関係する大学や高校に配布し、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。			者の農業経営を支援するための農業次世代人材投資事業補助金を新たに2名に交付し、						
る大学や高校に配布し、半田市で就農する魅力についてPR強化ができた。									
大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪 大阪			また、新規事業として、半田市独自の就農者向けバンフレットを作成し、農業に関係す ス大学や真体に配布し、半田市で就典する鮭丸についてRR湾とができた。						
日本 日			の人子や高校に配 布し、干田巾で 就莀する魅刀についてPR強化かできた。 						
関	^		拡充推進						
(日) 今後の事業 の方向性 た、新規就農者向けのパンフレットを活用し、半田市で就農する魅力についてPRを強化する。 (日)	4								
の方向性 化する。 さらに、就農後も将来の担い手に繋がるように、農業次世代人材投資事業を活用し資金 面での支援を行い、離農者 O名を目指す。 の 成果指標 目標値 単位 の目標 ①認定新規就農者認定数 2 人	里								
が	題 解 決								
が				ハ手に繋がる。	ように、農	業次世代	人材投資區	事業を活用	し資金
が									
ウ ① 認定新規就農者認定数 ・令和3年度 の目標	0		成果指標					日標値	単位
の 令和3年度 の目標 しかいと 別 の 目標	め の 目								
			少心 足利 死奶辰日 心 止 效					2	^
示		の目標							
	宗								